

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 香椎工業 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>創造性に富むしなやかでたくましい工業人材を育成する学校 ものづくりの知識・技術の習得と各種資格習得に向けた学びを通して、心身を磨き、高い専門技術・技能を身に付け、地域・社会に貢献できる知・徳・体の調和のとれた人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人としての在り方生き方を身に付け、主体性を発揮できる人材の育成 ・高い工業に関する専門技術・技能を身に付けて、地域・社会で必要とされる人材の育成 ・ものづくりを通して、チームの中で活躍できる人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用と観点別評価による生徒の学習意欲を高める授業展開 ・鍔兜の製作などの継承されるものづくり・引き継がれる伝統技術を守るための「課題研究」や「実習」を中心とした課題解決能力を育成するカリキュラム ・5つの専門学科とさらなるコース選択を通じて多様な生徒の創造力を伸ばす教育の実践
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりや資格取得への興味や関心が高い人 ・運動競技や文化活動などで、自己実現のため努力する人 ・元気で明るく、自立心を持ち、リーダーシップを発揮する人

学校運営計画(4月)					
学校運営方針				評価 (総合)	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
<p>「タフ」で「しなやか」な工業人の育成を図るため『ものづくりは人づくり』～21世紀を勝ち抜く工業人の育成をめざして～を経営方針として、校訓である「自立・協同」の精神を活かしつつ、次世代の工業人の育成を図ることを実践し、昨年度は、就職内定率100%をはじめジュニアマイスター取得数で全国上位等の成果を上げることができた。今後、大きな変革が予想される産業界において、読解力を身に付け創造力のある技術者を輩出することが本校の大きな使命である。今年度は経営方針に「香工PRIDE～夢へ挑戦～」を掲げ、「生徒一人ひとりの多様な進路実現」に向け、就職だけでなく公務員や大学進学等への進路指導体制の充実を図る。</p>	<p>授業改善により授業力並びに学力の向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力とともに学び方を身に付けさせ、学び続ける姿勢を育む。 ○観点別学習状況評価と「指導と評価の一体化」により個々の資質能力を高める。 ○主体的・対話的で深い学びの推進とICT活用の充実により教育の質を向上させる。 			
	<p>キャリア教育の充実により生きる力を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間のキャリア教育推進プランを示し進路ガイダンスを充実させる。 ○外部講師、外部機関との連携により学びと実社会を繋げ学習意欲の向上を図る。 ○就職・公務員や大学進学等への幅広い進路指導体制を構築させ、個々の進路実現を図る。 			
	<p>工業教育の充実により次代を担う工業人材を育成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体系的・系統的にカリキュラム・マネジメントを推進し特色ある教育活動を実践する。 ○ものづくりをとおして課題発見力・課題解決力や製作工程などの管理能力を高める。 ○国家資格、検定試験、パテントコンテスト等々により資質能力を高める。 			
	<p>計画的組織的な道徳教育の展開・人権教育の推進を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体をとおして、社会性や「自立」「共同」の精神並びに人権意識を養う。 ○いじめ撲滅を目指し、いじめ撲滅委員会をはじめ全職員でいじめの見逃しをなくす。 ○特別な支援を必要とする生徒や気になる生徒の情報共有と早期対応を行う。 			
	<p>特別活動や部活動により豊かな人間性とさらなる学校活性化を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な特別活動の実施や部活動の充実により学校生活の満足度を高める。 ○様々な集団での体験により主体的態度や思いやりの心を育てる。 ○個々の教師のコーチングスキルを高め、生徒の将来へのモチベーションを向上させる。 			
	<p>広報活動の充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校訪問、体験入学、ホームページの充実を図る。 ○学校評議員会・学校関係者評価委員会の意見を踏まえ、教育活動の改善に努める。 ○特色ある教育活動を発信し生徒の自尊感情を高め地域から愛される学校を目指す。 			
評価項目	具体的目標	具体的方策		生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
<p>教務部 教務課</p>	<p>基礎学力の定着と応用力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を充実させ、生徒の学力と学習意欲の向上および職員の指導力向上で「指導と評価の一体化」を図る。 Chromebookの効果的な活用を全職員で行い、生徒の学習意欲向上および主体的な学習につなげる。 各学期の追指導期間などを活用したきめ細かな指導により全生徒全科目履修および修得を目指す。 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生徒動態の把握と出席状況の報告により基本的な生活習慣の確立を図り、年間皆勤者数250名を目指す。 授業アンケート、考査前家庭学習時間調査、学校満足度調査などを通して教育活動の改善を積極的に図る。 生徒動態の把握(まもるんの活用、出席停止生徒の把握)を工夫して業務のスリム化を図る。 		<p>学校満足度調査 学校生活アンケート</p>	
<p>教務部 メディア課</p>	<p>広報活動のさらなる充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問、広報紙やHPの有効活用、各種学校説明会の積極的実施により広報活動のさらなる充実化を図る。 各専門学科との連絡を密にし、はまおスクール、出前授業、中学生体験入学のさらなる内容の充実化を図る。 新ホームページを有効活用やはまお安心メールの活用により、日常的教育活動から緊急時の対応など幅広く情報を発信する。 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>ICT教育の推進と各種管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> Chromebookの有効活用を進め、生徒の学習意欲を高めると同時に、教員の業務のペーパーレス化・スリム化を図る。 電子黒板型プロジェクターやChromebookなどの機器の故障や不具合に適切に対処する。 ネットワーク環境の整備を継続して行い、セキュリティや個人情報の管理を徹底する。 		<p>学校生活アンケート</p>	
<p>生徒指導部 生徒指導課</p>	<p>規範意識の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常に就職試験を意識した頭髪・服装を心がけさせ、保護者と連携を図りながら、規範意識を育成する。 教員と生徒との元気ある挨拶を励行し、コミュニケーション能力を高め、良好な人間関係を構築する。 交通安全教室や登下校指導を実施し、交通安全・登下校マナーを意識した行動をさせる。 		<p>いじめアンケート 学校生活アンケート</p>	
	<p>部活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・学校生活アンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・早期対応で見逃しゼロに努める。 中学校との情報交換を積極的に行い、教員間の連携を深めるとともに更なる競技成績の向上に努める。 部活動の活動報告をホームページ・中学校訪問などを活用して広報する。 		<p>学校生活アンケート</p>	
<p>生徒指導部 生徒支援保健課</p>	<p>保健管理・健康教育の充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の健康チェックを徹底させ生徒の怪我や病氣、感染症に対して迅速に対応させる。 生徒の心身の健康・保持増進を図るために、援助や指導を充実させる。 安全・健康な学校生活を過ごすために自己管理の能力を向上させる。 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>環境美化活動の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃を大事にし、美化活動の充実と徹底を図る。 生徒会や整美委員会の更なる充実を図る。 古紙分別を徹底し、ゴミの減量・再資源化を促進させる。 		<p>学校生活アンケート</p>	
<p>生徒指導部 生徒会指導課</p>	<p>学校行事と日常生活の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で役割を分担し、各行事の運営に関して生徒が計画・立案に関わり主体的に運営できるようにする。 科・クラスのリーダーを早期に発掘し、自主運営させる事で資質・意識の向上を図り、行事の成功に導く。 ICTの活用と定例会の回数増加及び内容の充実を図ることによって、生徒間でのコミュニケーションを密にとれるようにする。 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>学校行事と日常生活の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回の校内での挨拶運動と、香椎駅を主とした地域の中での挨拶運動でコミュニケーション能力の向上を図る 委員会が中心となり、日頃の感謝を込めて学校周辺の地域貢献活動を行う。 本校を含めた近隣7校で合同役員会を年に2回実施し、生徒会の親交を深め生徒会役員としての意識の向上を図る。 		<p>学校生活アンケート</p>	
<p>進路指導部 就職課</p>	<p>進路決定100%の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全職員による面接指導を早期に実施し、12月までに生徒の就職を決定する。 各学年・学科と情報を共有し、就職試験1次合格率85%を目指す。 生徒一人ひとりの進路実現に向けた就職指導の充実を図り、希望進路の合格率向上を目指す。 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>学年に応じたキャリア教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師によるマナー指導等の進路学習会を各学年2回以上とする。 3年生による就職・進路報告会や卒業生講話を充実させ、進路意識の高揚を図る。 インターンシップや職業インタビューを夏季休業中に実施し、就業意識や社会性を培う。 		<p>学校生活アンケート</p>	
<p>進路指導部 進学課</p>	<p>進学指導・支援体制の整備と充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進路説明会を各学期1回以上行い、進路に関する情報を生徒に提供する 2学年と協力してオープンキャンパス事前指導の運営を行うなど、2学年進学生徒のガイダンスを行う 経済的な状況による就学・進学困難な生徒に対する奨学金の案内等を充実させる 		<p>学校生活アンケート</p>	
	<p>多様な生徒の可能性を伸ばす 進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各担任との情報交換を行い、上級学校の進路説明会への参加を促す。 「スタディサプリ」を活用して、1学年生徒の基礎学力の向上を図る 進路学習会における四年制大学等への受験指導を充実させる。 		<p>学校生活アンケート</p>	

総務部 研修課	授業力・生徒指導力の向上	主体的・対話的で深い学びの推進やICT活用の充実のための研修と情報提供を行う。	学校生活アンケート	
		授業研究週間を効果的に活用できるように実施する。		
	組織的な指導体制をつくり、充実した初任者研修を実施する。			
職員研修の充実	本校の教育課題に応じた校内職員研修会を実施する。	自己研鑽の場として、校外研修への積極的な参加を促す。	学校生活アンケート	
		学校のチーム力向上に向けて、運営委員の研修会等を行うとともに、職員間のコミュニケーションが図れる研修を実施する。		
総務部 庶務課	庶務課行事の充実及び円滑な運営	各行事に協力して業務に取り組めるよう、担当者が連絡・説明を確実にする。	学校生活アンケート	
		昨年度の反省をもとに、各行事の工夫・改善を行うとともに、行事ごとに反省アンケートを実施する。		
		運営委員会・職員会議の議題を取りまとめ、円滑に実施する。		
PTA活動、行事の活性化	PTA役員会、委員会と学校職員との連携を密にしPTA行事の充実を図る。	各委員会の自主的活動の推進・支援を行い、活性化を図る。	学校生活アンケート	
		一般保護者の各行事への参加10%増を目指し、役員会・各種委員会と連携して企画・運営をする。		
1学年	基本的な生活習慣の確立	授業や学校行事等を通して、規律・ルールを守り、他人の気持ちを考えて行動できる生徒を育てる。	学校生活アンケート	
		明るい挨拶と素直な気持ちで返事ができる生徒の育成を目指す。		
		欠席・遅刻の指導を徹底し、1か年出席皆勤者140名を目標とする。		
基礎学力の育成	各教科の基礎・基本となる学習内容を授業の中に取り入れ、学力向上に努める。	教科担任・各分掌・保護者との連携を図り、問題点に対し早期に対応する。	学校生活アンケート	
		進路指導部や各学科と連携しながらキャリア教育の充実を努める。		
2学年	基礎力の育成	学習環境を整え、規律ある学習態度を育て、自ら学ぶ力を育成して、一歩ずつ進めさせる。	学校生活アンケート	
		挨拶の励行や時間の厳守など徹底した生徒指導を行い、規範意識を高める。		
		「修学旅行」や「体育祭」等の学校行事を通して、集団生活における規律や協調性を養わせる。		
自己実現に向けた取組の実施	進路指導部と連携し、就職や進学への指導を行い、次年度のスムーズな進路実現へとつなげる。	「インターンシップ」や「工場見学」等の取り組みを通じ、就業意識や社会性を高める。	学校生活アンケート	
		担任を中心に学年団・各科・及び保護者と連携を図り、生徒一人ひとりに目を向け、手厚い指導・助言を行う。		
3学年	最上級生としてのリーダーシップの育成	最上級生としての役割を認識し、自覚させ、率先した行動をとれる生徒の育成を図る。	学校生活アンケート	
		積極果敢にコミュニケーションを図り、考えや意図が相手に伝わることでできる生徒の育成を図る。		
		生徒主体で行える学校行事作りを行う。母校愛に溢れ、後輩思いの上級生としての資質を養う。		
進路実現と進路先での生きる力の育成	学校や公共の場でのスマホの取り扱い方法、倫理観の育成を促す。	担任団の連携、進路指導部と専門5科との連携を密にとり、進学・就職の情報を共有する。	学校生活アンケート	
		成人年齢となったことを自覚させ、責任ある行動ができるよう導く。		
電気科	基本的な生活習慣・学習支援の確立	保護者・教員間の連携を密にし、生徒の状況把握に努め、欠席・遅刻数の減少に取り組む。	学校生活アンケート	
		生徒の学習上における課題(成績不振等)を教員間で共有し、学習課題の解決に向け、支援を行う。		
		理数・工業系の学習に対して、興味・関心を高める授業づくりに努める。		
資格取得者数・合格率の向上と進路指導の充実	資格取得の指導体制の充実を図り、電気系国家資格の取得数・合格率の向上に努める。	各学年のキャリア教育を充実させるとともに、3年生の就職合格者を100%を達成する。	学校生活アンケート	
		企業と連携を図り、生徒の電気系職業・職種への興味・関心を高める。		
機械科	安心と基礎基本による学力向上を図る	成績不振者を中心として個人に合わせた学び方や学習方法を指導する。	学校生活アンケート	
		ノートやレポートの見やすさの工夫を通して理解力や表現力を鍛える。		
		さわやかな挨拶や返事の習慣化し、他者への思いやりの心を全職員で取組む。		
学科のPR活動を充実する	体験入学の充実を進め、工業高校(機械科)のものづくりの楽しさをアピールする。	実習環境の向上と内容の充実を図り、機械科の3Kイメージの改善に努める。	学校生活アンケート	
		ホームページの科に関する活動の紹介をスムーズに4回以上更新する。		
工業化学科	基本的な生活習慣の確立と進路実現	頭髪・服装・挨拶などの指導を全職員で行い、社会人としての「マナー」や「モラル」を身に付けさせる。	学校生活アンケート	
		欠席・遅刻・早退の減少を目指す。気になる生徒に関しては情報の共有を行い組織的に対応する。		
		学年や進路指導部と連携し、生徒の希望と適性に応じた指導を行い、第一希望の進路実現を目指す。		
職員の教科指導力・生徒指導力の向上	科内で評価方法やICT活用について検討し、授業改善に努める。	教員内で技術・技能・指導力の継承と向上を行う。	学校生活アンケート	
		科の職員全員で生徒指導を行い、組織的に対応するとともに、個々の指導力を向上させていく。		
情報技術科	主体的に行動できる生徒を育てる。	遅刻者を減少させるとともに全学年毎月の出席率98%を維持する。	学校生活アンケート	
		学校生活を通じて、互いを尊重する心を身に付けさせるとともに、学科や学校への帰属意識を育てる。		
		挨拶の励行、言葉遣いの指導を日常的に行い、社会人としての規範意識を育てる。		
学力の向上及び資格試験等に自ら取り組む態度を育てる	教員間で連携し情報共有することで、生徒個人に対応した教科指導を行う。	学科内におけるITパスポート試験の取得者30人以上を目指す。	学校生活アンケート	
		教員間で技術・技能・指導力の継承と向上を行う。		
電子機械科	基本的な生活習慣の確立と進路指導体制の充実	遅刻・欠席が当たり前ではない指導を担任だけでなく、学科職員全員で行う。	学校生活アンケート	
		一人一人の進路実現のため面接指導やアドバイスを積極的に行う。		
		外部講師を招聘し、高度な技術を学ぶと共に職業観を身につけさせる。		
学科集会の充実とHP更新内容の充実	学科集会で学年が交わる催しを行ない、縦の繋がりを意識させる。	電子機械科の卒業生による体験談や近況報告などを通して、将来への意識を高めさせる。	学校生活アンケート	
		最低でも2か月に1回はHPを更新し、学科の広報活動を充実させる。		
普通科	確かな学力と人間性の育成	ChromebookなどのICTの活用を積極的に行い、グローバル社会、超スマート社会を生き抜く学習意欲と基礎学力の定着を図る。	学校生活アンケート	
		習熟度別授業や個別指導で個々の生徒の学習支援を充実させる。また、情報交換を密に行い、生徒の状況把握に努める。		
		学習姿勢に係る指導をとおして、場面に応じて自立または共同して学習する人材を育成する。		
教科指導を通じた生徒の希望進路実現の支援	進路指導部、各専門科と連携し、キャリアガイダンスを充実させた進学や就職支援を行う。	一般教養、体力、生きる力の向上につながる授業を実践することにより、生徒の進路実現に寄与する。	学校生活アンケート	
		基礎・基本を充実させる授業をとおして、生徒の自然科学、社会科学への興味関心を高め、進路選択の幅を広げる。		